

日時 令和2年6月8日(月) (17:28~18:38)

場所 岩手県立山田高等学校 会議室

出席者: 15名(記録係2名含む)

学校評議員5名、校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任、生徒指導主事、保健主事、進路指導主事、記録係(総務課2名)



1 開会のことば(事務長)

2 校長あいさつ

- ・学校評議員制度のあらまし
- ・学校経営計画等を紹介していくので忌憚のないご意見をお願いしたい。

3 自己紹介

4 学校経営計画について(校長)

学校概況について

- ・在籍数、卒業生の進路、学校行事、部活動について説明。
- ・校内で完結する行事は形態を熟慮しできるだけ行っている。
- ・県高校総体、野球選手権大会、高総文祭がことごとく中止となっている。残念なことだが状況を考えるとしたしかたない。大方の生徒は新しい目標である進路に向かっている。

学校経営計画について

- ・学校経営計画は資料のとおり。

5 重点目標について

各校務分掌の重点目標について(各課長)



<総務課>

- ・PTA総会は書面審議とした。案件は90%以上の賛成をもって承認された。今後のPTA活動として校内行事(海の運動会、さいかち祭)への参加を検討していきたい。同窓会の役員会と総会は形態について検討中である。その他は資料のとおり。

<教務課>

- ・基礎学力の向上を図っていききたい。探究活動を通しての地域の活性化を考えている。その他は資料のとおり。

<生徒指導課>

- ・生活三大目標の徹底、部活動の活性化に取り組んでいる。行事は感染症対策を行った上で進めている。ボランティアは現在活動できていない。いじめの未然防止に努めている。各種講演会は延期となっている。その他は資料のとおり。

<保健厚生課>

- ・生徒の保健、安全に努めていく。外部講師を招いての講演会は現在できていない状況である。前任校と比べると心身健康な生徒が多い印象なのでこのまま継続していきたい。その他は資料のとおり。

<進路指導課>

- ・外部講師、外部機関と連携していきたい。キャリア教育も推進していきたい。現3年生の進路希望の状況と現時点での求人の概要。その他は資料のとおり

<図書・視聴覚課>

- ・読書の推進を図っていききたい。その他は資料のとおり。



<教育ネットワーク運営管理課>

- ・県内統一のサーバーへのスムーズな移行に努める。ホームページの管理やお知らせメールの管理に一層努める。その他は資料のとおり。

6 意見交換

(学校評議員大手さん)

- ・コロナ対策でボランティアもお願いできないでいる。サマーチャレンジは中止、福祉まつりは検討中。
- ・部活動において3年生には気の毒な状況であるが子どもの方が切り替えが早いと感じている。岩手県内は感染者が出ていないのでまだいいほうか。
- ・SNSでの誹謗中傷の報道があり怖いと感じている。家庭で気をつけるべきことではあるが学校でも注意喚起をお願いしたい。
- ・生徒の登下校の様子を見ると整容面がしっかりしていると感じる。先生方のご指導の成果と思っている。

(生徒指導主事) SNSでのトラブルは数年前にあったがここ何年かはでていない。引き続き啓蒙活動をしていきたい。

(学校評議員上澤さん)

- ・町内小中学生が魅力を感じる山田高校とは具体的にどう考えるか聞きたい。
- ・同窓会活動の周知をお願いしたい。昨年度は総会のお知らせが遅く、早ければもっと参加者が増えたと思われる。計画したことを実行できるような体制づくりをお願いしたい。
- ・町内小中学校との連携を進めてほしい。
- ・生活三大目標の指導の徹底をお願いしたい。自分の財産となり、社会生活においても役に立つ。
- ・環境整備で、ものの大切さも教えてほしい。町民の道路脇のゴミ拾いで大量のゴミを拾った話を聞いた。家の中の整理整頓も家庭中心のことだと思うが学校でも指導してほしい。
- ・進路指導は家庭と連携を取り進めてほしい。



(校長) 魅力ある学校とは生徒・保護者が入学したい入学させたい、地域住民が残したいと思う学校であると考えている。夢を持って入学してくる生徒が自己実現の可能な学校、夢を叶えることができる学校にしていきたい。活発なあいさつ、楽しい部活動、充実した授業を実践しくことが方策であると考えている。

(学校評議員中村さん)

- ・今年度は就職の管内希望者が少ないということだが、地元を離れても将来的には山田町に戻ってきてほしい旨を伝えてほしい。
- ・ホームページをスマホで見ることがあるが、字が重なっていてみづらい事がある。

(進路指導主事) 管内求人状況について。例年だと今頃の時期はやりとりをしているのだが、今年は交流の場がない。内陸は採用意欲は旺盛である。沿岸は製造や宿泊業は厳しい状況である。インターンシップや各種講演会で管内企業の紹介はしている。3年の科目ふるさと探究でも紹介していきたい。

(副校長) ホームページもチェックしていきたい。

(学校評議員花坂さん)

- ・地元が衰退していく理由は若者が定着しないからであると考えている。県外に行くとなかなか戻ってこない。
- ・インターンシップに臨む際、漫然とではなく企業や職種を勉強して心構えをもって向かうようにしてもらいたい。
- ・高校生の段階で役場職員を受験する人は少ない。山田高校で積極的に受験してほしい。元気な人を求めている。合格していけば魅力になると思う。
- ・以前は公務員模試は高校2年生あたりから受験していたと思うが今はどうか。
- ・地元の水産業も心配である。どんどん職場開拓をしてほしい。

(進路指導主事) インターンシップは現在秋に2日間管内企業にお世話になっている。希望進路の職種に関連する企業に行っている。さらに工夫していきたい。

今年の3年生は公務員志望は3名いるが行政の希望者は0である。模試の早期受験は検討していきたい。町の総務課を招いて役場職員の仕事についての講座も企画していきたい。

(学校評議員佐々木さん)

- ・沿岸の中学校での勤務が多いが、震災前後で生徒の進路に対する考え方が変化していると感じている。震災前は都会志向の生徒が多かったが、震災後は地元志向の生徒が多くなった。中学生は消防士や保育士や役場など安定した職業を求めている。
- ・山田中学校の役割は山田町に貢献する人材の育成だと考えている。キャリア教育を進めるためコーディネーターへ依頼しインターシップを2日から3日にし、ゆくゆくは5日程度にしたいと考えている。
- ・町に1つずつの中学校高校として連携し積極的に交流したいと考えている。地元の高校で国公立大学に進学したりインターハイに出場したりする生徒がいればその魅力をどんどん紹介できる。海の運動会の見学も考えている。中学生からすると高校生は身近な大人に見える。輝いていれば魅力を感じる。宣伝はどんどんしていきたい。教員同士の交流もしていきたいと考えている。

(生徒指導主事) 海の運動会の交流は前向きに検討したい。

(学校評議員上澤さん)

- ・コロナウイルス対策の中、学校も大変だと思うが体に気をつけてがんばっていただきたい。

7 その他 なし

8 校長謝辞

- ・それぞれの知見を活かして建設的な意見をいただいた。高校は社会に出て行くための場であると改めて強く意識した。
- ・閉塞感にさいなまれているが教育の力でなんとか克服していきたい。
- ・魅力ある学校をめざしていくのでご協力をよろしくお願ひしたい。

9 閉会のことば (事務長)

〈以 上〉